

Aptiva用 IBM 9514 LCD Monitor をご購入のお客様へ

Aptiva E シリーズ TFT 液晶付属モデル (2153-21T M 1T 31T, 2139-51T) をご購入のお客様は、「IBM 9514 Color LCD Monitor ユーザーズ・ガイド」をお読みになりケーブル等の接続をすませてください。その際、キーボードケーブル、マウスケーブルは「セットアップ・ガイド」2章の「セットアップしましょう」に従って Aptiva 本体につないでください。(LCD Monitor の背面にあるコネクターにはつながないでください。) ディスプレイの設置が完了しましたら、以下の手順に従って初期設定を行ってください。

1. Aptiva 本体での設定- ドライバの導入

「セットアップ・ガイド」に従ってセットアップを続けてください。Windows 98 のセットアップの途中 (プロダクトキーを入れた後) 新しいハードウェアの追加ウィザードダイアログが立ち上がり IBM 9514 LCD Monitor のドライバの導入を促します。【次へ】ボタンを押し検索方法を選択してください。

使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨) にチェックして 【次へ】ボタンを押してください。

Color LCD Monitor Installation Diskette for Windows[®] ディスケットをいれて、フロッピーディスクドライブ (F) にチェックされていることを確認して 【次へ】ボタンを押してください。

どのドライバをインストールしますか? に対して、更新されたドライバ (推奨) (T) にチェックされていることを確認して 【次へ】ボタンを押してください。

これでドライバをインストールする準備ができましたので 【次へ】ボタンを押してドライバのインストールを進めてください。インストールが終了したら 【完了】ボタンを押して Windows 98 のセットアップを続けてください。

2. LCD Monitor での設定

2-1 画面調整

9514 Color LCD Monitor Test Pattern Diskette (for DOS/Windows[®]) ディスケットを入れてマイコンピュータ->3.5 インチ FD (A:) から「Testpat」の順にアイコンをダブルクリックしてファイルを開いてください。次に、LCD Monitor 本体の下の一左のメニュー・スイッチを押してください。(LCD Monitor のボタンの名称については、LCD Monitor に付属の「ユーザーズ・ガイド」を参照してください。)

```
MENU1/6 MAIN
STANBY          OFF
EXPANSION       ON
AUTO SETUP      OFF
```

:

と表示されています。Select ボタン (輝度調節ボタン) で上から3番目の AUTO SETUP を選択し Start ボタン (コントラスト調節ボタン) を押して AUTO SETUP を Start させてください。しばらくすると “AUTO SETUP COMPLETED” と表示されますので、Quit ボタン (メニュー・スイッチ) を押して設定メニューから抜けてください。Test Pattern を抜けるには Alt + F4 か TEST PATTERN Ver 2.02 ボタンを押してください。

さらに LCD Monitor の画面の微調整が必要な時にはメニュー・スイッチを押して CONTRAST, BRIGHT, PHASE 等の値をお好みの値にセットしてください。またリフレッシュレートの調整をする時にはコントロールパネル->画面->設定タブ->詳細ボタン->調整タブ->リフレッシュレートの変更ボタンを押して値を変更してください。また、コントロールパネル->画面->設定タブで画面の領域を 1024x768 ピクセルでご利用になることをお勧めします。

裏へ

2-2. Monitorの省電力機能の設定

工場出荷時の設定ではLCD Monitorの省電力(STANBY)機能がオフに設定されています。省電力機能をオンにするために、次の手順にしたがってください。

まず、LCD Monitor本体の下の一左のメニュー・スイッチを押してください。

```
MENU1/6 MAIN
STANBY      OFF
EXPANSION  ON
AUTO SETUP  OFF
```

:

と表示されています。Adjust ボタン(コントラスト調節ボタン)の左を押して STANBY を「OFF」から「DPMS」とセットしてください。これにより LCD Monitor の省電力機能がオンになりますので、Quit ボタン(メニュー・スイッチ)を押して設定メニューから抜けてください。

モニタの電源が自動的に切れるようにするには、コントロールパネル->電源の管理->モニタの電源を切る(M)で時間を設定します。コンピュータを放置したままにしておくと、設定時間がくれば自動的にモニタが省電力モードにはいります。マウスを動かすか、キーボードのどれかのキーを押すことにより元の作業状態に復帰します。また、

スタート>Windows の終了(U)->スタンバイですぐに省電力モードにはいります。Aptiva 本体の主電源をオンすることにより元の作業状態に復帰します。

詳しくはスタート>ヘルプ(H)->スタンバイ状態、コンピュータの設定を参照してください。

これで Aptiva 用 BM 9514 LCD Monitor を使う際の設定が完了しました。

トラブルの対処に関しては、「BM 9514 Cobr LCD Monitor ユーザーズ・ガイド」52 ページの「故障かな?」と思ったらをまずご参照ください。